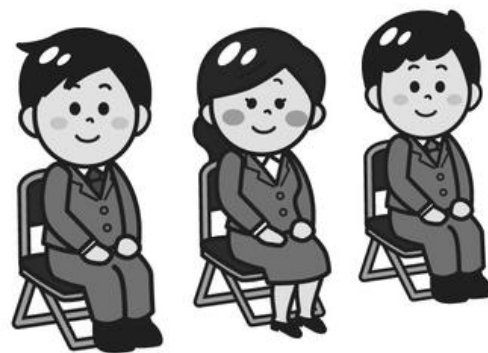


## 面接練習を終えて1

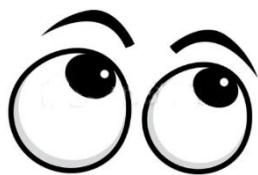
昨日、第1回の面接練習を行いました。面接官として、校長先生、教頭先生、2年の学年主任の伊藤先生、教務主任の須原先生にお願いして、行いました。

本番では、個人面接のところもあるのですが、今回は、時間の関係で、すべてグループ面接とさせていただきました。そして、グループ分けは、同じ学校、または、同じような学校を受験する人で分けています。今日の面接練習でも、ほかの人の質問に対する答えを聞いて、「なるほど!」と言っている人や、「みんなすげえな」「私も頑張らないと!」と言っている人がいました。



今回の面接練習を終えて、気づいたことを書かせてもらいます。

### ①目線がうろうろしすぎ!



面接に行った時の目線の基本は、しゃべっている人の面接官の方を見ることです。しかし、なかなか目をじっと見ることはできないと思うので、面接官のネクタイのあたりを見るのがいいと思います。



どうしても考えていた答えを思い出そうとすると、目線が上を向いたり、横を向いたりしがちです。

### ②自分の言葉で答えよう!

面接に向けて、いろいろな答えを考えてきたことと思います。質問をされたとき、一生懸命、考えてきた答えを思い出そうと、頭の中の答えを引き出しながらかしゃべっている人がいました。そうすると、スラスラとはしゃべれず、つかえつつかえになってしまったり、言い間違えたと思って、焦ってしまったり、早口になってしまったりと、結構混乱している人がいました。

面接に対する答えを考えておくことは大切ですが、その通り伝える必要はないと思います。面接官は、その答えを、一字一句知らないのです。多少間違っていてわからないのです。何より、面接官に、みんなの「この高校に入学したい!」という熱意が伝わるのが大切なのです。少々つかえてしまっても、自分の思いを伝えることに、全力を注ぐ方が、面接としてはいい結果になると思います。「自分の言葉」で話せるように、もう少し練習をしておいてください。



来週の月曜日に、公立前期選抜で京都府立高校を受検する人は収入証紙に割り印をしてもらうため、印鑑が必要となります。忘れずに持ってきてください。(願書に印鑑を押している人は、同じ印鑑を持ってきてください。)